

LipoTEST Case Report vol.7

2009年12月

Case7: 脂質代謝改善治療により四肢の皮膚潰瘍病変が好転治癒した甲状腺機能低下症のチワワ

【Profile】

(2009年第30回動物臨床医学会 症例検討発表 講演抄録より抜粋)

- ・動物種: 犬
- ・品種: チワワ
- ・性別: 雄(去勢済み)
- ・年齢: 6歳8ヶ月
- ・体重: 2.4kg
- ・B.C.S=3/5(標準)

■病歴:

3歳齢時に皮膚潰瘍が発症し、治癒まで半年かかった。今回、食欲不振と沈鬱を呈し、身体一般検査で、起立不能、左後肢の足根部と大腿部内側の皮膚潰瘍を認めた。

【検査】

■院内検査

○身体検査

- ・食欲不振、起立不能、沈鬱、左大腿部内側の潰瘍。

○血液検査

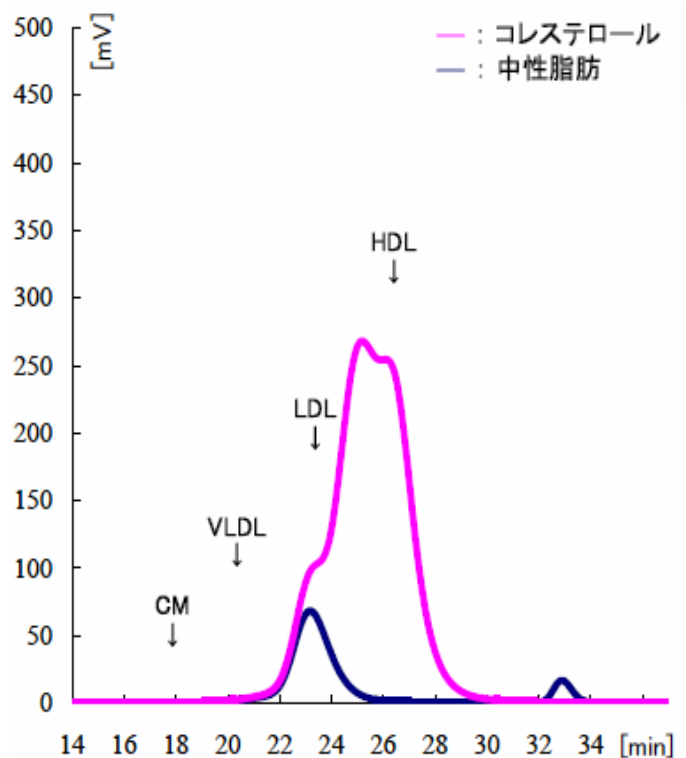
- ・脂質の異常高値(T-Cho =368mg/dl)
- ・肝酵素の異常高値(ALP=638U/dl)
- ・軽度の貧血(PCV=29.0%)

○甲状腺機能検査、自己免疫疾患検査

- ・自己免疫疾患に異常なし
- ・甲状腺機能(fT4= 0.9ng/ml)

■LipoTEST検査所見(1回目)

- 分類: パターン1・LDL増加型
- LDL-Choの高値に加え、LDL-TGの増加。



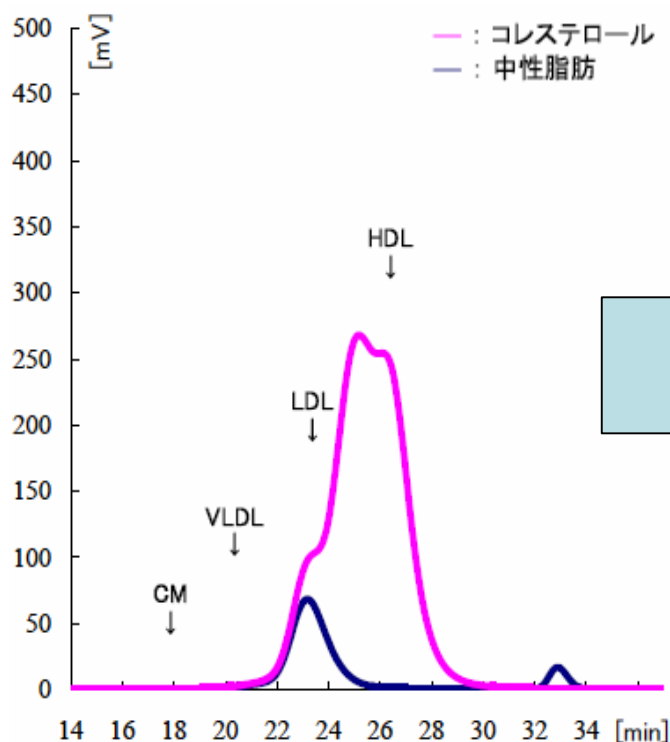
【治療計画】

- ・ LipoTESTの結果と、甲状腺機能検査、身体検査から甲状腺機能低下症、脂質代謝異常、皮膚の壊死性潰瘍と診断した。
- ・ 皮膚潰瘍については、アンピシリン静脈内投与と洗浄、アイプクリーム塗布し、甲状腺機能低下症については第2病日よりチラージンS(0.02mg/kg BID)を投与した。
- ・ 入院中も潰瘍病変が進行したため、第9病日よりメバロチン(1mg/kg SID)を投与し、第90病日に再検査を行った。

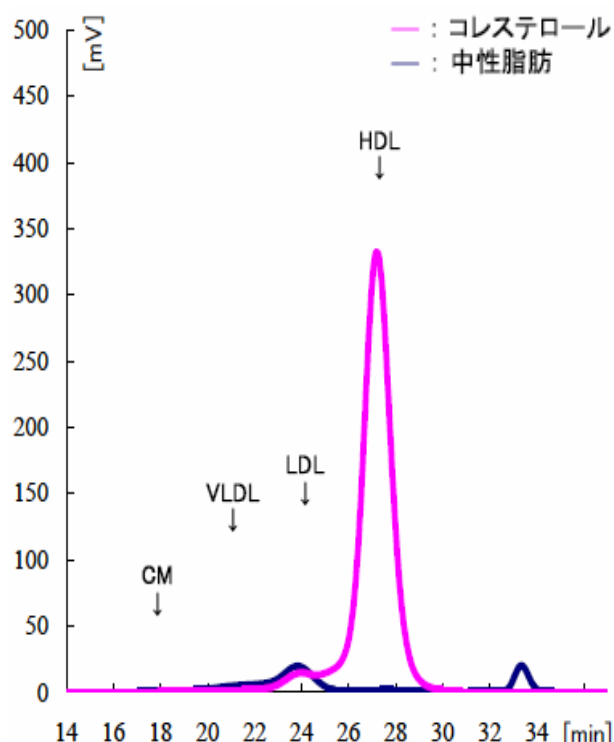
⇒ 裏面に続く

【LipoTEST 波形データの変化】

～ 1回目結果 ～ 第1病日



～ 2回目結果 ～ 第90病日



【解析結果に基づく治療への評価】

- 甲状腺ホルモン製剤の処方に加えて、高LDL血症の改善を目的とした脂質代謝改善治療を行うことで皮膚病変に顕著な好転治癒がみとめられた。
- 今回の症例は、ヒトと同様に閉塞性動脈硬化症による血流障害を起こし四肢皮膚に潰瘍・壊死を呈したことが十分に示唆された。
- 高脂血症を伴う四肢の血流障害・虚血性皮膚病変を呈する犬の鑑別診断には、本症が加えられるべきで、その治療には脂質代謝改善治療が有効と思われる。

症例提供:あかね動物病院 佐藤始先生 (新潟県)

◆LipoTESTに関するお問合せ先 スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| 病院名 | | 氏名 | |
| 住所 | | TEL | |

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>